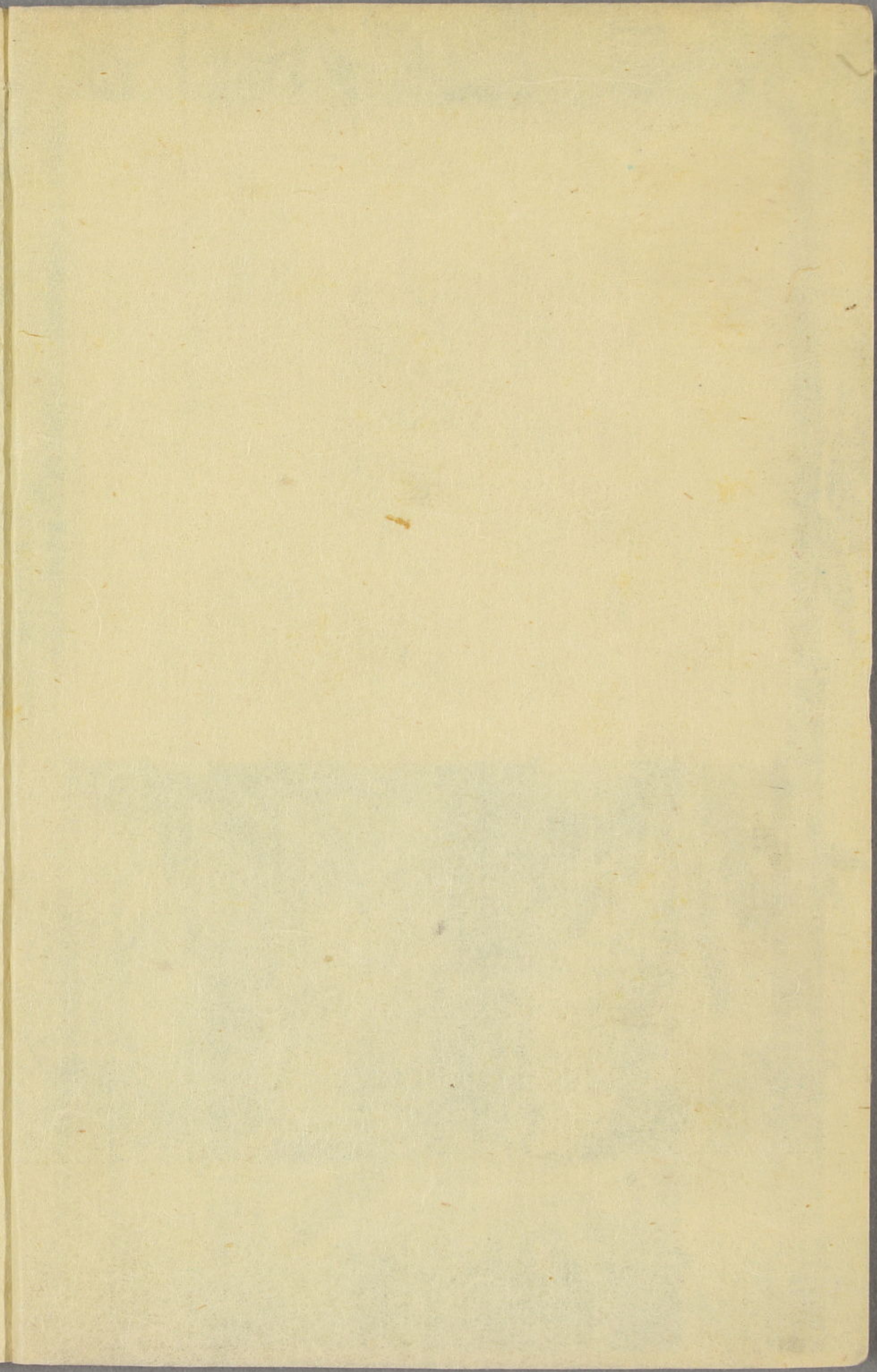


Gōkan: (No. 020)  
 Taketori Monogatari.  
 Part 2. BOOY 6--10.

~ 13  
 3690  
 6









國貞画

竹取物語

六編上

森治板





竹取六編下



森治板



竹取物語 六編上

京山作 國貞画



門 13  
號 3690  
卷 6

竹取物語六編自叙

源の順が作りとりのおもえたるのれ竹取の夕夜  
借の梅若松若事蹟成孟浪して児歌の舞  
史あり初編をよ編成嗣人今もこの編の筆と  
左しらす其筆の竹の管あをそれ思ふは梅れ  
白ひありその昏机ハ松の末ありあつら松竹梅の  
三清は因なきもあらず才かひとを短くて九節  
の節もまたらぬ竹取のまどりのしめはまきの  
あきて一日も此を存と推賞玉の昏賢の章も  
まこと甘ししのんといふ

晩春脱稿  
初冬發取

山東原題

竹取物語















③  
 ちをわのさ  
 りをんか  
 のすか  
 らんや  
 小のの  
 えんか  
 つれ  
 ひさ  
 けの  
 ちの  
 せの  
 せの  
 まの  
 うけ

④  
 せが  
 おは  
 やく  
 まか  
 あん



①  
 ちをわのさ  
 りをんか  
 のすか  
 らんや  
 小のの  
 えんか  
 つれ  
 ひさ  
 けの  
 ちの  
 せの  
 せの  
 まの  
 うけ

⑤  
 ちをわのさ  
 りをんか  
 のすか  
 らんや  
 小のの  
 えんか  
 つれ  
 ひさ  
 けの  
 ちの  
 せの  
 せの  
 まの  
 うけ



















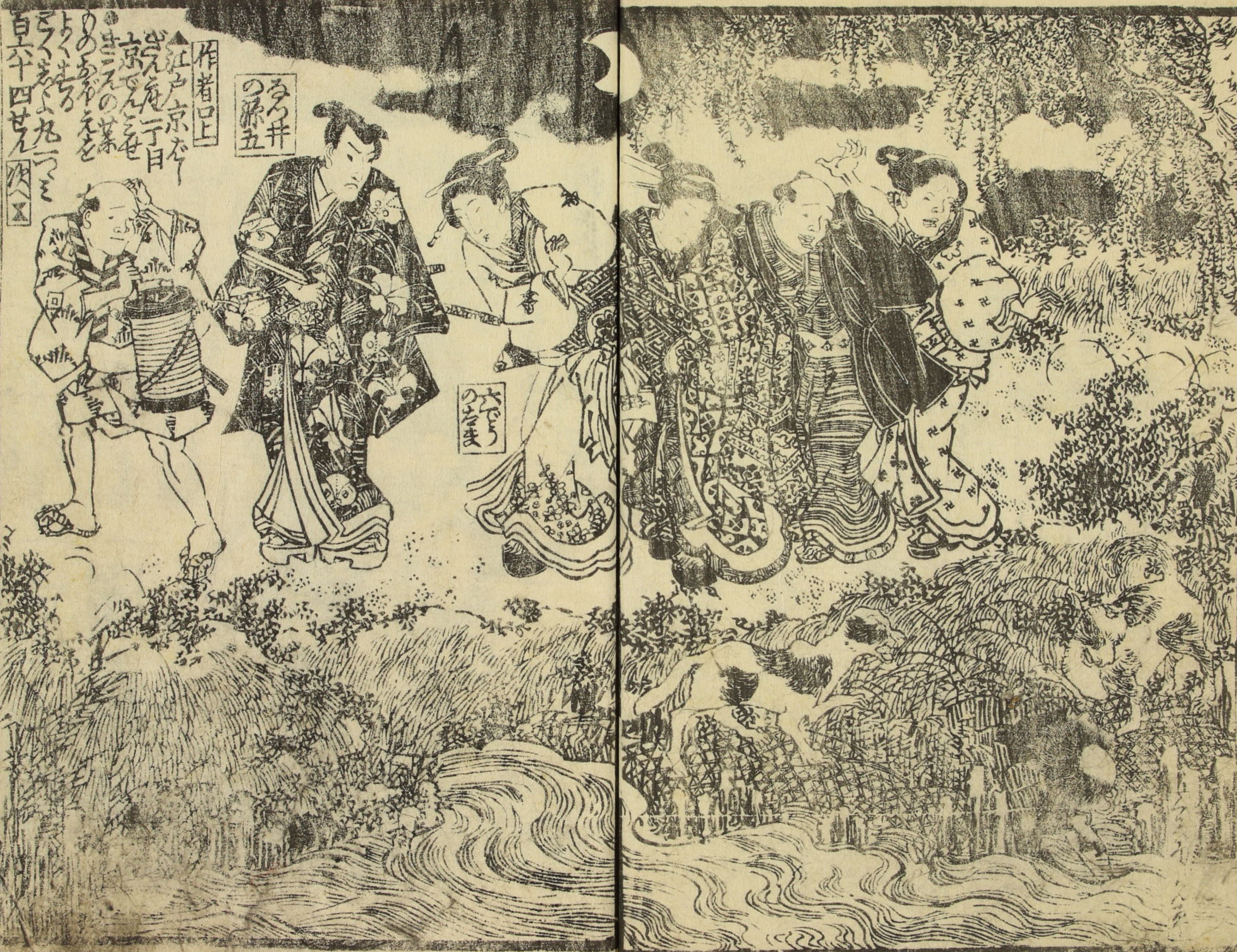




作者口上  
江戸京を  
せんて日  
のあやを  
よくせ  
百六十四  
夜八

るん井  
の源五

六でり  
のま



竹反六編

竹反六編



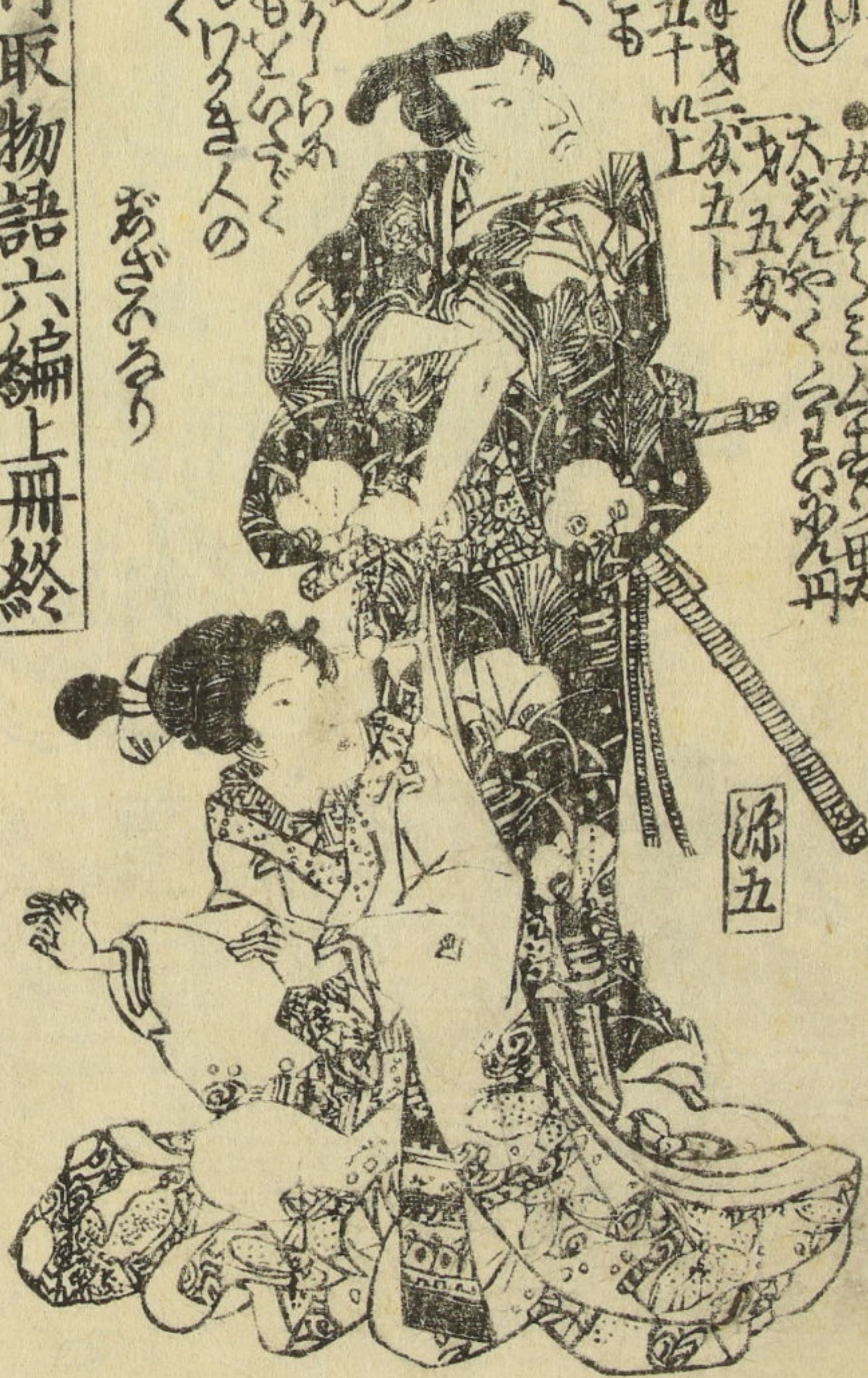
竹取物語

玉皇の御孫と云ふは  
いかにうつくしき御孫と云ふは  
とるべき御孫と云ふは  
大人小見よりの御孫  
の御孫と云ふは  
女御と云ふは  
大御と云ふは  
女御と云ふは



女御と云ふは  
大御と云ふは  
女御と云ふは  
大御と云ふは  
女御と云ふは  
大御と云ふは

竹取物語六編上冊終



京山作  
國貞画



源五









十 東六編



作 目 大 綱







三つ折の丸い...  
 ちりめん...  
 さの...  
 ちりめん...  
 さの...  
 ちりめん...  
 さの...



竹取六編

十四

三つ折の丸い...  
 ちりめん...  
 さの...  
 ちりめん...  
 さの...  
 ちりめん...  
 さの...



三つ折の丸い...

三つ折の丸い...

三つ折の丸い...

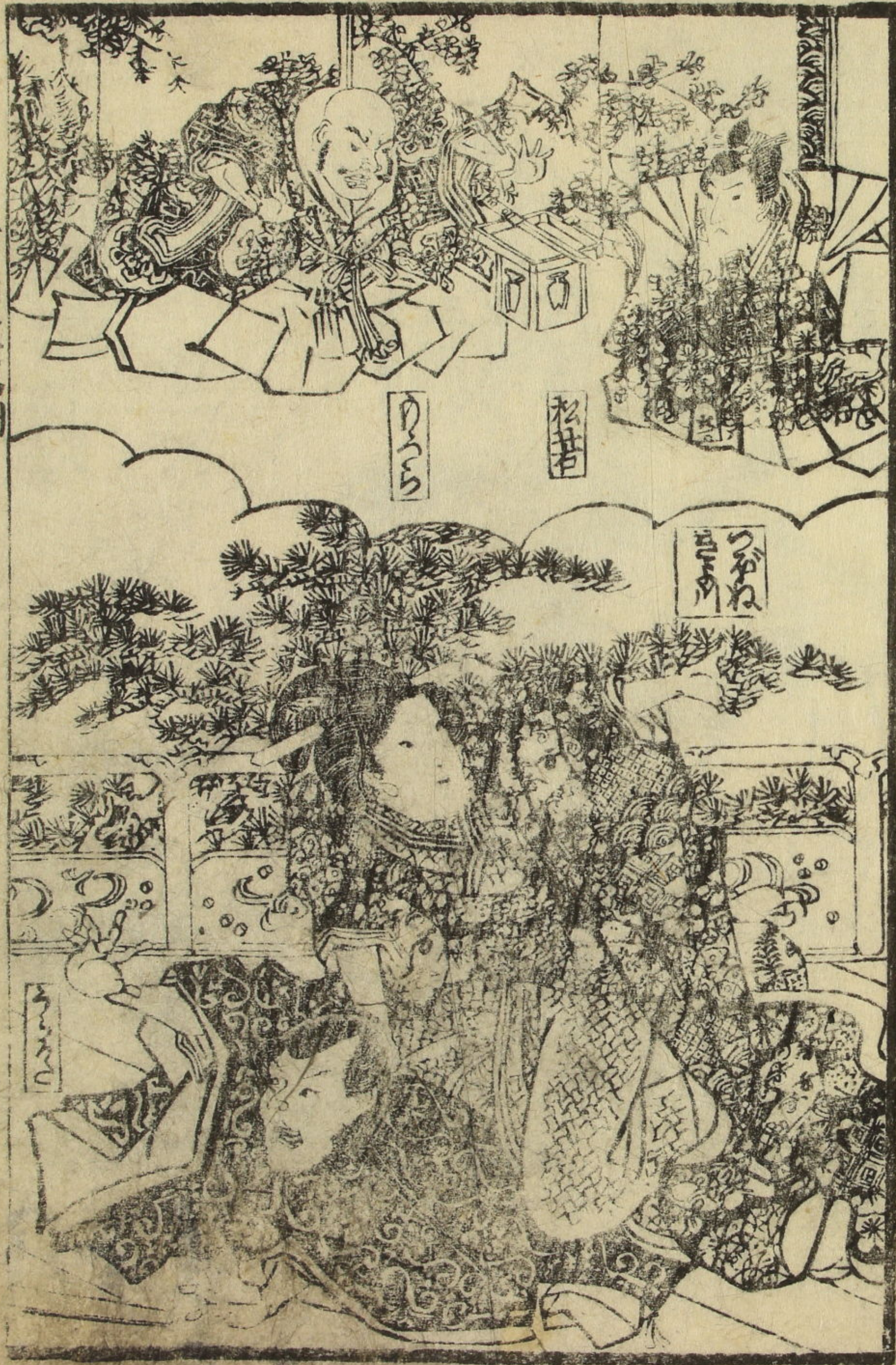












竹又六編

りつら

松若

つがね

ちんちん



又みやとごらの一とらるるえぢがあと  
 よとしまらなりがぬすまざりてまてたる  
 由なせんさるるえとありて、うらぬいふら  
 まそまおんおはるるまかゆせんざいふら  
 らんくちりらとまてあつてのまて川が  
 るお入れするけ一とらるるのつぎ  
 目おまらうひる一とらあくとあけの  
 うらららひつらあゆりその  
 さまらあるる井のはん五とらを  
 まま一とら五とららのまてまて  
 ら一とらうらぬのも  
 とれまてと  
 かてまね  
 らじらまの  
 のけてまて  
 うとまて  
 つけるまて  
 あかまのあけら  
 るる井のけま  
 まらぬのまてま  
 あまのまてまて  
 まらぬまてまて  
 げん五とらまて  
 のまてまてまて  
 まらぬまてまて  
 のまてまてまて  
 まらぬまてまて



















